

大河ドラマ『南海道の晴嵐』を期して(二八九)

文出水 康生

戦国おもしろ百話

三好長慶、飯盛山城(大東市・四條畷市)から天下に号令
 ——市長を先頭に官民体大東市だといふ三好長慶が天下を動かす——

大東市制六〇周年

一九五六昭和三三年に住道町・四条町・南郷村が合併して大東市が人口三〇六二〇人、川口房太郎初代市長で誕生して今年が六〇周年。その大東市がこの四月に再選の東坂浩二市長を先頭に官民一体で、万事に活動的で元氣一杯である。その大東市へ同志と共に七月三〇日に行き「だいつ?三好長慶会」の創立記念講演をさせてもらった。東坂市長とも講演前に、目にも見せる伝家の宝刀の海部泰吉鑑



『日本百将伝』の三好長慶



『歴史街道』(2015. 4)の抜刷



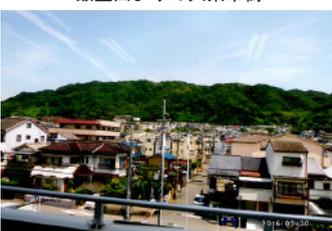
野崎観音の「野崎まいり」



野崎小歌の歌碑



飯盛山よりの大東市街



飯盛山城跡

切海部・雅」に刻まれる金象嵌を説明し、その刃紋を見て、その銘刀の入手者が東條英機の名の同志であることを言つて、市長がさすがにわつと反応して互いに談笑。

飯盛山城の飯盛山は頂上で大東市と四條畷市との市域になる。信長直前の戦国天下人三好長慶が永禄三(一五六〇)年から病死する永禄七年七月まで、飯盛山城から「天下」に号令した。生誕の芝生城(三好市から越水城・西宮市)、越水から京への西国街道の中間の芥川山城(高槻市で

天文二(一五五三)年から「天下」に独裁、号令した後に嫡子義興に家督芥川山城を譲つて天上視界一七〇度の飯盛山城から号令する。その飯盛山城跡を国の史跡指定とすべく運動し、「古代から中世においては飯盛山城と三好長慶の物語はインバウンドとシンビツクプライドの両方の獲得を期待できるビッグコンテンツになる可能性が高い。さらに近世まで見ても、これほどの可能性を持つものはなく、現段階では中期的に、計画的に、このコンテンツに注力して成長を

図るべきである。生涯学習の為に学術的な整備を核に、その成果を待たずして市民の間に認識を浸透させ期待を抱かせ、市外との連動やPRを積極的に行って、コンテンツの成長を促進させていくことが期待される」と歴史的資源活用の最大の目標とされている。そのための一歩に三月三〇日(三三)日には大東市長以下の市の幹部四〇人が藍住町・三好市を訪問し、藍住町では教育長が対応し、三好市では三野庁舎で副市長が対応し、千葉勲さんが講義して研修された。その際に「三好長慶武者行列まつり」実行委員会を通して、秋田忠昭さんが八万文化祭に展示のために製作した力作の甲冑が寄贈され、現在に大東市役所ロビーに「特別甲冑」として展示されている。そのことの確認が東坂市長と秋田忠昭さんの握手で行われた。

野崎参り

「(一)野崎参りは屋形船でまいろ、どこを向いても菜の花ざかり、粋な日傘にや蝶々もとまる、呼んで見ようか土堤の人(二)野崎参りは屋形船でまいろ、お染久松切ない恋に、残る紅梅久作屋敷、今も降らすか春の雨。(三)野崎参りは屋形船でまいろ、音にきこえた観音ござる、お願かけよかうたりよか滝に、滝は白絹法の水」と東海林太郎の「野崎小歌」(昭和一〇年、今中楓溪詞大村能章曲)で知られる野崎観音の慈眼寺が飯盛山麓にある。大東・三好長慶会の河村共之さんの案内で同志九人の面々が参拝した。野崎参りは十七世紀末の元禄ころより盛んとなったと言われる。本尊は十一面観音で、永禄八(一五六五年)の「三好・松永の兵により寺は全焼し、本尊の観音像だけが残った。元和二(一六二六)年に青



海部泰吉「鑑切海部」の金象嵌を説明



「鑑切海部」の刃紋を見る



大東・三好長慶会創立記念講演会



最後に勝鬨のエイト・エイト・ウオ～!



大東市役所ロビーに展示される甲冑



特製甲冑製作者の秋田忠昭さん(左) 大東市長東城浩一さん(中)と筆者(右)

して全戸配付の心意気に期待し、「NPO 撰河泉地域文化研究所」「NPO 文化遺産保存ネットワーク 河内長野」「大東市立生涯学習センター」などと共生・共栄することを祈念する。

厳和尚が寺を復興」とされる。現在では新田開発で埋められて想像できないが、三好長慶が飯盛山城から天下に号令した時には城下まで深野池が広がり、大和川の水運で堺大和に結ばれ、深野池の真中には支城としての三筒城があった。城主のサンチヨ三筒頼照は洗礼を受けて教会を建て、周辺の砂・岡山・田原などの河内キリシタンの中心となり、本能寺の変の時に明智勢に味方して滅亡するまで、毎年のクリスマス、復活祭には二〇〇〇～三〇〇〇人が祝福した、と言われる。慈眼寺境内に野崎小唄歌碑、お染久松比翼塚・芭蕉句碑がある。近松門左衛門「女殺油地獄」、近松半三「新版歌祭文」、落語の「のさきまいり」など話題が豊かである。野崎参りは屋形船でどこを見ても菜の花畑で、さらに河内木綿の生産地となつて、その河内木綿布を染めるのに阿波藍が利用された。三好長慶・

戦国以来の歴史に繋がる。 **だいたい・三好長慶会** 大東三好長慶会が「みよしながよし会」の名乗りで、わが三好長慶会の兄弟結社として今年の三月十二日に設立された。河村共之代表、名誉顧問に東坂浩市長をはじめ異能の集団として活動を開始している。「三好長慶と飯盛城を通じて大東の歴史・文化を知り、大東の活性化、大東のまちおこしを行います」と決意を表明し、大東市市制施行六〇周年記念事業平成二八年度大東市提案公募型委託事業「三好長慶&飯盛山市民サポート」養成講座」を展開している。その初の設立総会・記念講演に招かれていたが、NHK文化センター講座と重なり、七月三〇日に記念講演が通常講座では三〇～四〇人の受講であるが、さすがに八〇余名の出席の盛況となった。三好長慶が小笠原長清以

来の通字を「長」とするので三好ながよしと読むのが正当であるが、三好ちようけいと音読しても許容されることを明暦二(六五)年刊『日本百将伝抄』将軍命令によって林鷲鳳選筆以来に三好長慶が日本百将に選定され、それらを受けて「勇斎国芳」新刻『日本百将伝』(弘化五・八四八)の最後に収録され、その三好長慶に右側に「ながよし」、左側に「ちようけい」とルビがふられていることを紹介し、民間の書肆者として著名な森銚三先生の所説によつて、江戸時代には『信長公記』『義経記』のように音読することで敬意を表したことを紹介して、「みよしちようけい会」「みよしながよし会」とも大いに結構、ただ「なかよし会にならないように忠告したのであった。四條畷市には楠木正行が小楠公として四條畷神社に祭祀され、楠木正成の大楠公と共に崇敬されていることから『太平

記』に由縁の三好長慶の王道の政治理念「理世安民」の旗幟を学習して納得とし、飯盛山上に高らかに掲げられよ、小楠公の銅像の横に三好長慶像を建立されよ、と激励の辞。そして環大阪湾政権としての三好政権「物外軒実休三好豊前守義賢、三十七年の生と死」三好家の家格上昇・栄典授与での三好義賢の名と相伴衆任命「江戸幕府旗本三好越後守家の伝家の宝刀と系図を手」三好三人衆、釣閑斎宗謂三好下野守政康と為三三好因幡守「任」の「戦国おもしろ百話」への掲載資料によつて、東條英機さんがヤフーオークションで入手した海部泰吉「鑑切海部雅」の銘刀の金象嵌「本作海府泰吉也泉州面鑑武者切落、依是三好越後守為重代調法者也」を目にもの見せ、それに対応する「三好系図」の記録と対応して、びつくりぎよつてんの新発見のことを報告した。そして学者

先生の学問的研究に学びながらの市民サポートの在り方を説き、XY軸の第一象限での十の最大限の効果を上げること、とした。さらに「大河ドラマ」の実現のために、全国に「人でも多くの同志を獲得し、事務局を設置して戦略・戦術を駆使してのPR活動を」「軍師官兵衛」「真田丸」の取り組みから説いた。それを共生共栄・共存・共楽…の心をもつて為すべきことを呼びかけ、最後に参加者全員の高らかな勝鬨、エイト・エイト・ウオ～!の大合唱の三唱で締めくくった。 「だいたい・三好長慶会」が大東市長を先頭とする官民一体の活動の一角を占めて今後益々に異能集団として活躍することを祈念する。東坂市長が昨年四月の『歴史街道』の特集「信長の真実」の結末として天野忠幸さんが執筆の「日本の統治者と呼ばれた三好長慶の実像」部分を抜刷りとして全戸配付の心意気に期待し、「NPO 撰河泉地域文化研究所」「NPO 文化遺産保存ネットワーク 河内長野」「大東市立生涯学習センター」などと共生・共栄することを祈念する。